



新年度を迎えて

～ 地域の皆様の為にある鵬友会であるために ～

医療法人社団鵬友会 理事長 池島 秀明



皆様方におかれましても昨年1月よりの、未曾有の感染症によって、暖かな陽気にて例年より早く満開に咲き誇っておりました桜の下の花見も自粛されている方がほとんどだろうと思います。この事態に対しても、地域の皆様方にとって頼りになる医療法人であるために、我々医療法人社団鵬友会も、当法人の基本理念である「当会の設置経営する施設は永年医療業務に関与してきた立場より、この経験を活かしつつ「科学的で良質かつ適切な医療、看護、介護」を普及することにより、ソーシャルサービスの精神をもって地域の皆様から信頼される医療及び福祉に貢献すること」に則って、地域の皆様の健康の維持、児童福祉に、毎年変わらず努力すること、職員一丸となって未曾有の感染症への対応をおこなうことを、今年目標として参りたいと思っております。

【湘南泉病院】 令和2年度は、神奈川モデル認定医療機関として、新型コロナウイルス感染症陽性者や感染の疑いのある患者様を積極的に受け入れることで、地域住民の皆様、地域医療機関の皆様のお役に立てたと考えております。また我々にとっても病院組織全体の底上げにつながったと考えております。令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の対応を行う一方で、まずは患者様への対応をビフォーコロナの状態に戻すため、積極的に協力介護施設や近隣医療機関からの患者様の受け入れを行うことは勿論、アフターコロナに向けて、新たに産業衛生部門・健康診断部門に力を入れてまいりたいと考えております。

【新中川病院】 昨年度は、コロナ渦でしたが、当院として2度目10年継続の「病院機能評価認定」を取得する事が出来ました。外部からの好評価に甘んずることなく「急性期病院はもちろんのこと老人施設や地域住民の皆様は今まで以上に信頼される病院」「慢性期医療の患者様の件で困ったときは当院に相談しようと頼りにされる病院」となる為、本年度も職員一同全力で患者様のために努力していく所存です。

【横浜ほうゆう病院】 認知症専門の横浜ほうゆう病院は昨年12月に、旭区及び保土ヶ谷区を担当とする横浜市認知症疾患医療センターに指定されました。手探りながら本年度より本格的な活動をしてまいります。また認知症初期集中支援チームとして引き続き泉区を担当いたします。認知症で医療を必要としている患者様を在宅で、または入院治療で、医療・看護・介護・リハビリテーションなどを通じてお支えできるようにいたします。また地域の患者様のお役に立てるように、医療等に従事する関係者の方への認知症に関する知識等の普及啓発にも積極的に取り組んでまいります。

【フジヤマ病院】 静岡県富士宮市にある当院は、昨年末より新型コロナウイルスに対応するべく発熱外来を設置しPCR検査・抗原検査を行える体制を整えました。また今年度よりコロナウイルスワクチン接種が行える医療機関としての整備を行っております。地域医療を支える一員としての役割を果たし、皆様にも少しでも貢献できるよう邁進してまいります。

【本郷クリニック】 本郷クリニックは、瀬谷区本郷地区

とその周辺の皆様が健康を維持できるように、かかりつけ医として生活習慣病や循環器疾患、呼吸器疾患等内科全般の診療を行っています。また、PCR検査も行っており、新型コロナウイルス感染症対応も整えています。本年度はなお一層、地域の皆様の笑顔と健康のために、スタッフ一同一丸となって精進してまいります。

【介護老人保健施設阿久和鳳荘】 介護ケア体制の充実を図り、在宅支援により一層力を入れていきます。入所、通所リハビリテーション利用者様の思いや考え方に寄り添い、不安なく一緒に時を過ごせるような温かみのある介護施設を目指してまいります。

【介護老人保健施設リバブルケア】 介護報酬改定・感染症対応など変化する状況に対応する為、各方面との連携強化を図ります。各職種の専門性を活かし、ご利用者様が生き甲斐をもって生活できる“入りやすく出やすい施設”“利用して良かったと言って頂ける施設”であるよう努めて参ります。

【介護老人保健施設いかる野】 日々変化する、利用者様・ご家族様・地域の皆様の介護ニーズに対応し、コロナ渦であっても活気のある、笑顔の多い高齢者施設を目指してまいります。身体介護・リハビリテーションだけにとらわれず、感染対策下で失われがちとなってしまう、利用者様・ご家族様・地域の皆様との「つながり」も、ケアの大切な一部分と捉え取り組んでまいります。

【ほうゆう訪問看護ステーション】 在宅医療、看護サービス需要が増え、機能維持のためにもリハビリテーションの必要性が高くなっております。社会情勢に合わせ感染対策など対応に留意して利用者様のニーズに沿えるような、看護、リハビリテーションの提供、連携支援を続けていきたいと思っております。住み慣れた地域、自宅安心して暮らして続けていただけるような訪問看護をおこなっていきたくと考えております。

【居宅介護支援事業所フジヤマ】 私達は在宅で生活されている高齢者の方々が住み慣れた環境において幸せに暮らしていただける様に支援する立場にございます。富士宮市内における医療、地域、福祉との連携をより一層強め顔の見える関係性を構築し、地域から信頼される事業所として貢献してまいります。

【ほうゆう保育園】 ほうゆう保育園は認可園になって7年目を迎えます。今年度は園長の交代があり新しい体制でスタートいたします。今まで6年間の基本的な考え方を継承しつつ、より一層園児一人一人の成長を丁寧に見ていきます。また、保護者の方にもご協力を頂きながら新型コロナウイルス感染防止に努めていきます。

以上、本年度の鵬友会各施設の展望を申し述べて参りました。私ども鵬友会は、今後とも現状に甘んじることなく、さらなる向上を求めて職員一丸となって研鑽を積むことにより医療、福祉、保健、児童福祉の分野での幅広い対応をはかり、地域の皆様より信頼される医療法人を継続していきたくと思っております。

ここにあらためまして皆様のこれまでの鵬友会へのご支援に深く感謝申し上げますと共に、鵬友会の発展のため、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

コロナ禍で必要な受診を控えていませんか？

持病の治療や健診受診が必要なのに、「感染症を心配して」受診を控える傾向が強まっています。必要な受診を先延ばしにすると、持病の悪化や、生活習慣病・がんの発見の遅れを招き、健康を損なうおそれがあります。コロナ禍でもきちんと受診することが大切です。

【必要な受診】

- 持病の治療・診察
- 健診・がん検診
- 健診で「要治療」「要精密検査」の項目があったとき
- 子どもの予防接種・乳幼児健診 など

【持病のコントロールが新型コロナ重症化予防につながる！？】

高血圧や糖尿病などの持病があると、年齢に関係なく、新型コロナの重症化リスクが上昇することがわかっています。持病がある方は、治療を続けて病気をコントロールすることがとても重要です。自己判断で通院を中断しないようにしましょう。

【遅らせないで、子どもの予防接種と健診】

予防接種の標準年齢は、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。時期を遅らせると免疫がつくのが遅れ、重い感染症になるリスクが高まります。お母さんからもらった免疫が減っていく生後2カ月ごろから計画的に予防接種を受け始めることは、赤ちゃんを守るために、とても重要です。

【症状があるときは、かかりつけ医に相談を】

熱やせき、腹痛などは感染症の症状とは限りません。それ以外の病気の可能性もあるため、タイミングを逃すと最適な治療が受けられなくなる場合があります。病気の早期発見・治療のためにも、まずはかかりつけ医に相談を。なお、発熱がある場合には、事前に電話で症状を伝え、受診方法について指示をもらうようにしましょう。

【医療機関は感染防止対策を万全に行っています】

当法人の医療機関は、感染防止のガイドライン等に基づいて対策に取り組んでいますので、安心してご来院ください。

もしかして、
控えてませんか？

- ☑ かかりつけ医への相談
- ☑ 乳幼児健診・予防接種
- ☑ 生活習慣病の健診・受診
- ☑ がん検診



乳幼児の予防接種を遅らせると、免疫がつくのが遅れ、重い感染症になるリスクが高まります。
また、生活習慣病やがんの早期発見には、定期的な健診と適切な受診が重要です。健康が気になる今だからこそ、かかりつけ医に早めに相談し、健診は予定どおり受けましょう。



感染症対策実施
医療機関



当院は新型コロナウイルス感染症対策
チェックリストに沿った
対策を実施しております。



日本医師会
Japan Medical Association

※協力：厚生労働省

湘南泉病院